

第6回新型コロナウイルス感染症対策委員会記録

1 会議の日時	令和3年8月31日	開 会 午後 3時 00分 閉 会 午後 4時 00分
2 会議の場所	議会西棟第1会議室	
3 出席者	委 員	45名 (欠席者：安井忠委員)
	執 行 部	別紙配席図のとおり
4 事務局職員	議会事務局長 服部 敬 議事調査課長 梅本 雅史 他関係職員	

5 会議に付した案件		
件	名	審査の結果
1	県内の感染状況について	
2	緊急事態措置区域の指定を受けた対策について	

## 6 議事録（要点筆記）

### ○松岡正人副委員長

ただいまから、第6回新型コロナウイルス感染症対策委員会を開催する。

それでは、最初に佐藤委員長よりご挨拶いただく。

### ○佐藤武彦委員長

ご存じのとおり、全国的に新型コロナウイルスのデルタ株が猛威をふるい、本県においても、感染者数が想定をはるかに超えて急拡大している。それに伴い、これまで一貫して堅持してきた「自宅療養者ゼロ」の取組みも維持できなくなり、危機的な状況となっている。

そうした中、8月27日から9月12日の間、全市町村を対象とした「緊急事態措置区域」に適用されることが決定され、その期間における本県の対策が打ち出されたところ。本日は、こうした現下の県内の感染状況を踏まえ、本県における緊急事態措置区域の指定を受けた対策の効果的な推進を図るため、第6回の対策委員会を開催することとした次第である。

### ○松岡正人副委員長

それでは、執行部より、説明をお願いします。質疑は、説明終了後をお願いします。

（執行部 挨拶・説明 堀 健康福祉部長）

（執行部 説明 兼松 健康福祉部次長）

### ○松岡正人副委員長

ただいまの説明に質疑はないか。

### ○水野吉近委員

妊婦が感染した場合、優先的に入院できる病床確保体制になっているか。

### ○堀健康福祉部長

妊婦の中でも重症化リスクが高いのは、妊娠後期と言われており、現在、妊娠後期の方については、症状の軽重に関わらず、入院する取扱いとなっている。全体の病床が逼迫してきた場合に、このような取扱いができなくなることを懸念しており、妊婦含め重症化した時に必ず入院できるよう、全体の感染状況を抑えていくことが非常に重要であると考えている。妊婦の対応については非常に重要であり、関係機関と相談していく。

### ○水野吉近委員

抗体カクテル療法について、外来での投与を認めるという政府発言があったが、県内の状況はどのようになっているか。

### ○堀健康福祉部長

8月上旬は、かなり軽症な方でも入院できたことから、多くの病院で、入院して抗体カクテル療法を受けることが可能であった。直近は病床がひっ迫してきており、抗体カクテル療法が適用となる方が全員入院することが難しいことから、いくつかの病院で、外来で投与し、宿泊療養施設でその後の観察をする取組みや、一泊二日で入院し、その後宿泊療養施設で療養するという取扱いを始めている。

### ○水野吉近委員

抗体カクテルは、どこの病院でも要請すれば届けられるものなのか。

○堀健康福祉部長

何かあったときに入院させることができることが条件となっていることから、入院患者を受け入れている医療機関が中心となっている。

○小川恒雄委員

最近ワクチンの接種ペースが落ちているように思うが、ワクチンの接種状況と今後の接種見通しはどのようなになっているか。

○中野感染症対策推進課ワクチン接種対策室長

8月30日時点で、1回目接種は全県民の約6割、2回目接種は全県民の約45%が接種完了しているが、国からのワクチン供給量が減っており、市町村は対応に苦慮している状況である。国からは10月10日までの供給量が示されており、ファイザーとモデルナ合わせて接種対象人口（12歳以上）の8割の方が2回接種できる量が供給される予定。8割を超える接種希望者が見込まれることから、引き続き、国に対し、全国知事会等を通じて、確実なワクチンの供給、供給スケジュールの早期提示を求めてまいりたい。

○平野祐也委員

職域接種についてキャンセルする企業が出ているが、キャンセル分を含めて8割の方が接種できる量が供給されるということか。そうであれば8割に満たないと考えるがどのように理解されているか。

○中野感染症対策推進課ワクチン接種対策室長

職域接種のキャンセル分を補う形で、ファイザー製ワクチンが供給いただけるということになっている。

○平野祐也委員

自宅療養の選定基準と、自宅療養となった場合に家族構成を確認しているかどうかについて教えてもらいたい。

○堀健康福祉部長

これまでは基本的に、入院が必要な方は入院、それ以外の方を宿泊療養施設での療養として取り扱ってきた。今回は、宿泊療養施設のキャパシティを大幅に超える軽症者の急増に伴って、宿泊療養施設に入らせていただくことができなかつた方を自宅療養としており、画一的な基準はないが、高齢など重症化リスクが高い方は避け、基本的に若年層の方をお願いしている状況である。また、基礎疾患のある同居人がいる場合は、若年の方であっても宿泊療養施設に入らせていただくなど、可能な限り個別の事情を勘案しながら対応している。

○平野祐也委員

自宅療養にかかる今後の対応についてお願いしたいことがある。同居家族も濃厚接触者として外に出られないケースや、ひとり親のケースなどにおいて、陽性者の分の食料しか配付されず生活できないといった話を他県等における自宅療養でよく耳にする。食料支援は陽性者の分だけでなく、希望のある場合は、有料でも良いので看病する家族や子供の分も支援いただきたい。

○国枝慎太郎委員

宿泊療養施設から排出されるゴミは感染性廃棄物にあたると思うが、自宅療養の場合はどうなってい

るか。

○柴田健康福祉部課長

自宅療養者が排出するゴミは、一般の家庭ゴミにあたる。排出の際は、ゴミに直接触れないこと、ゴミ袋を二重にすること、排出後はしっかり手洗いをするを案内している。

○国枝慎太郎委員

先ほど、妊婦の優先接種に関する通知について説明があったが、受験生の優先接種については、市町村によって取組みにばらつきがあるため、県から通知を出してほしい。

○中野感染症対策推進課ワクチン接種対策室長

8月10日の市町村担当課長オンライン会議において、受験生に配慮のうえ接種を進めていただくようお願いしているところ。国のワクチン供給量との兼ね合いもあり、市町村においては地域の実情や住民の声等を踏まえ優先順位を判断いただいている。

○岩井豊太郎委員

重度の障がいがあり、日常生活で介護が必要な方が感染した場合の治療はどのように行うのか。

○堀健康福祉部長

事例ごとに最適な解を見出すしかないことから、個々の事例に応じて、保健所と相談しながら対応を検討したい。

○伊藤英生委員

宿泊療養施設における抗体カクテル療法の実績は。

○堀健康福祉部長

現時点では、宿泊療養施設における抗体カクテル投与は行っていない。

○伊藤英生委員

自宅療養者のゴミ出しに関して、神奈川県海老名市などは支援チームが実施しているといった話を聞くが、本県においては、支援チームが行うことはあるのか。

○柴田健康福祉部課長

現時点では行っていない。状況により支援の必要が出てきた場合、市町村と連携し、検討していきたい。

○川上哲也委員

自宅療養を不安に思う方に対して、例えば野戦病院のように、一つの場所にまとまって療養する場所を作ることは考えているか。また、そういった希望は聞いていないか。

○堀健康福祉部長

現時点では具体的な検討には至っていない。また、特段、そういった話は聞いていない。

○川上哲也委員

自宅療養者がどういったことを希望しているのか確認すべきだと思うため進めてもらいたい。

○堀健康福祉部長

宿泊療養施設の拡充を同時並行で進めながら、元の療養の形に戻すことが大前提ではあるが、今後の感染状況次第では、先生ご指摘の状況もあり得るため、よく話を聞きながら、必要な検討を行っていき

たい。

○広瀬修委員

災害時の避難所におけるコロナ対策について、問題があったことはあるか。

○森島感染症対策推進課管理監

特段、問題があったとは聞いていない。保健所が感染症法に基づき入手する患者情報は、通常、市町村に提供していないが、災害時の避難所における感染防止に資することから、8月2日以降、避難所運営の用途に限定するという条件で、陽性者の個人情報各市町村に提供している。

○広瀬修委員

コロナ禍に人が集まるという点で避難所のデータを取っていただき、今後、コロナが収束した際、人が集まるイベントに利用していただきたい。

○広瀬修委員

県立高校でオンライン授業を基本として進められているということだが、緊急事態措置の期間内はこの方針で進めるのか。また、まん延防止等重点措置の期間となってもこの方針で進めるのか。さらに、オンライン授業から対面授業へ切り替える際の基準についてはどのように考えているか。

○松本教育総務課長兼教育対策調整室長

オンライン授業を基本とすることを対策として示した際にも、措置期間の終了時である9月12日をオンライン授業の終了時期とは明言していない。期間内であっても感染状況が収まれば、できる限り対面に戻したいと考えている。しかし、現在の感染状況はたいへん厳しい状況であるため、戻す時期の明示は難しいと考えている。

○広瀬修委員

再開するときの基準を示した方が、学校や保護者も計画的に準備できる。基準を示す努力をして欲しい。

○小川恒雄委員

私の地元の美濃加茂市では、外国人県民の人口が多く、外国人県民の感染者数も非常に多い状況である。外国人県民の優先接種については、市民の中にも様々な意見があるが、外国人県民のワクチンの優先接種についての県の考え方を教えていただきたい。

○中野感染症対策推進課ワクチン接種対策室長

6月8日に市町村に示した優先順位及び供給方針において、外国人県民を優先接種の対象として例示している。また、中濃圏域の県の大規模接種会場にも、外国人県民を接種対象者に入れている。

○小川恒雄委員

外国人県民への周知に関しては、多言語で、より多くの外国人県民に周知できるようにしてもらいたい。

○中野感染症対策推進課ワクチン接種対策室長

幅広い外国人県民の方に周知いただくよう、市町村に対しより多くの言語での周知を依頼している。また、教会等コミュニティを形成される場所における周知についても改めて依頼する。

○藤本恵司委員

ワクチン接種について、県として接種完了の目標はあるか。

○中野感染症対策推進課ワクチン接種対策室長

11月までに希望者への接種完了目標を立てているが、ワクチン量が今のところ不足しているため、国に対してしっかり求めていく。

○松岡正人副委員長

質疑も尽きたようなので、これをもって、第6回新型コロナウイルス感染症対策委員会を終了する。

第6回 新型コロナウイルス感染症対策委員会 配席図

令和3年8月31日(火)  
議会西棟 3階 第1会議室

森島 感染症対策推進課 管理監	深見 高齢福祉課 高齢者生きがいづくり 推進監	関谷 障害福祉課長	牧村 感染症対策推進課 管理監	森 地域福祉課長	赤尾 保健医療課長兼 健康増進室長	山田 環境生活政策課長	安田 私学振興・青少年課長	青木 文化創造課長	野中 感染症対策推進課 管理監
-----------------------	----------------------------------	--------------	-----------------------	-------------	-------------------------	----------------	------------------	--------------	-----------------------

加藤 感染症対策推進課 医療・検査体制対策 室長	有田 高齢福祉課長	笠井 子育て支援課長	松本 教育総務課長兼 教育対策調整室長	中野 感染症対策推進課 ワクチン接種対策室長	桑原 県産品流通支援課 東京オリンピック・パラリンピッ ク県産品活用促進対策監兼販路開 拓推進監	北村 商工政策課 経済・雇用再生室長	高橋 外国人活躍・ 共生社会推進課長	大川 地域スポーツ課長	吉川 市町村課長
-----------------------------------	--------------	---------------	---------------------------	------------------------------	--	--------------------------	--------------------------	----------------	-------------

大野 健康福祉政策課長	柴田 健康福祉部課長	伊藤 医療整備課長	小山 感染症対策推進課長	渡辺 健康福祉部参事	後藤 感染症対策調整課長	桑田 商工政策課長	久野 商業・金融課長	板津 財政課長	子林 人事課長
----------------	---------------	--------------	-----------------	---------------	-----------------	--------------	---------------	------------	------------

平野 健康福祉部参事	箆橋 健康福祉部次長	堀 健康福祉部長	兼松 健康福祉部次長 (調整担当)	長沼 健康福祉部次長 (福祉担当)
---------------	---------------	-------------	-------------------------	-------------------------

議長  
副議長

議会  
事務局長

議 員 席